**「監査意見及び学会運営課題への対応策について（案）」**

**「中期事業計画（素案）と財政収支見通し（素案）」への意見募集**

**【回答用wordファイル】**

お名前：　　　　　　　　　　（会員番号：　　　　　）

※ご意見はお名前を伏せてそのまま公開します。

●監査意見に対する見解及び改善策について

監査意見に対する見解及び改善策(1)～(9)について

Q1-1　あなたはこの認識を

　　　　　共有する--------まあ共有する--------あまり共有しない--------共有しない

Q1-2この見解及び改善策について、ご意見があれば賛否を含めお聞かせ下さい。（該当番号を明らかにしてください）

●特別財産基金について

　監査意見に対する見解及び改善策(3)

「特別財産基金については、現状の水準を維持するべきと考える。決算額の一定の割合を内部留保するという考え方は当然必要であるが、その額については、ある程度の財政規模の場合は、一定の率とすることが妥当であっても、本学会の場合30％程度で十分といえるような規模ではない。」

Q2-1　あなたはこの認識を

　　　　　共有する--------まあ共有する--------あまり共有しない--------共有しない

　「基金の在り方については、中期計画の検討経過も踏まえて、総会において意思決定すべき」としています。

Q2-2この見解について、ご意見があれば賛否を含めお聞かせ下さい。

●事務局体制について

　現在、事務局運営を進めるにあたり、事務局担当理事の配置、「総務部会」による文書チェック、名簿管理などの支援を進めています。今後、一例として総務部会に「サポーター制度」を設ける等、支援体制の整備を検討しています。

Q3 この検討について、ご意見があればお聞かせ下さい。

●会員拡大について

Q4 あなたにとって、自治体学会の魅力とは何ですか。また、その魅力を活かした活動の提案などがあればお聞かせ下さい。

Q5 会員拡大について、あなたはどう考えますか。あなたが考える方向性や方策などを教えて下さい。

●大会開催地の決定方法等について

　都道府県など地元自治体に依存した交流会議と連動していること、受け入れ自治体を見つける困難さがあること、平日開催の参加しにくさなどを問題とし、都道府県以外との連携（2018年堺大会）、大学施設などでの開催など、開催形態の変更について検討しています。

Q6 この検討について、ご意見があればお聞かせ下さい。

●中期事業計画について

中期事業計画の策定について

「中期収支見通しとして、歳入を現状の会員数減少トレンドで、歳出を現状の事業規模・予

算規模（不足分は特別基金で補填）で試算したところ、2023年度から2024年度にかけて特別基金がなくなり、2024年度以降には予算が組めない状況となる。会員数は5年後の700人規模を見据えた検討を行う必要がある。」として中期事業計画を策定します。

Q7この検討について、ご意見があればお聞かせ下さい。

●経費の見直しについて

　会員拡大にはとりくみつつも、財政規模としては700人でも持続可能な水準をめざし、継続的な収入確保・支出削減策について検討しています。

Q8 この検討について、ご意見があればお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見は今後の学会運営に活かしてまいります。